

松山駅周辺地区
車両基地跡地利用に関する基本構想案

(参考資料)

平成26年4月
松山駅周辺まちづくり審議会

目 次

1. 第1回松山駅周辺まちづくり審議会におけるワークショップでの各班の協議内容	
『松山駅周辺にふさわしい施設や機能の抽出』	1
2. 第2回松山駅周辺まちづくり審議会におけるワークショップでの各班の協議内容	
『車両基地跡地に必要な施設のイメージとコンセプト』	11
3. 第3回松山駅周辺まちづくり審議会における協議内容	
『第1回と第2回の結果を踏まえた車両基地跡地の利用に関する取りまとめ』	21
4. 中間報告	32

1. 第1回松山駅周辺まちづくり審議会におけるワークショップでの各班の協議内容

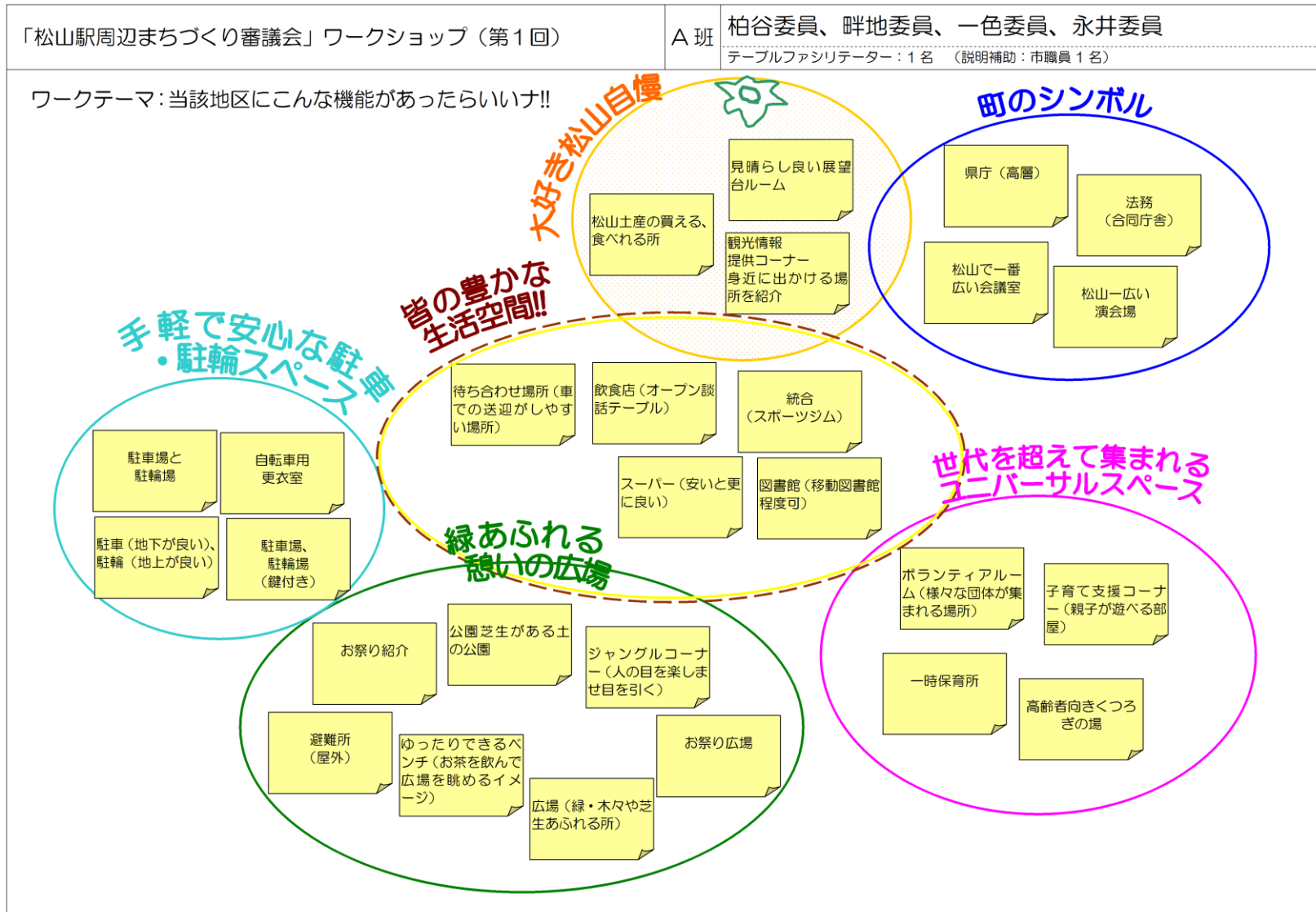
『松山駅周辺にふさわしい施設や機能の抽出』

第1回松山駅周辺まちづくり審議会におけるワークショップでの各班の協議内容

【A班】協議結果 (ワークシート)

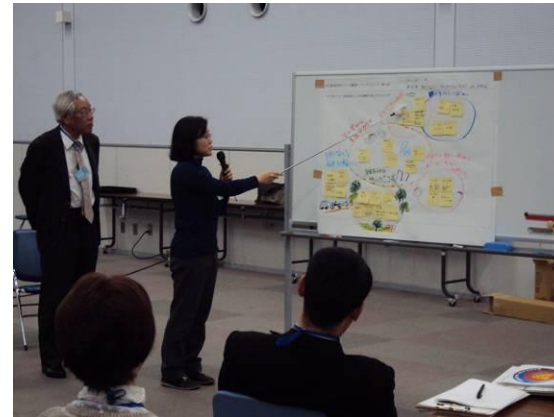


【A班】協議結果まとめ

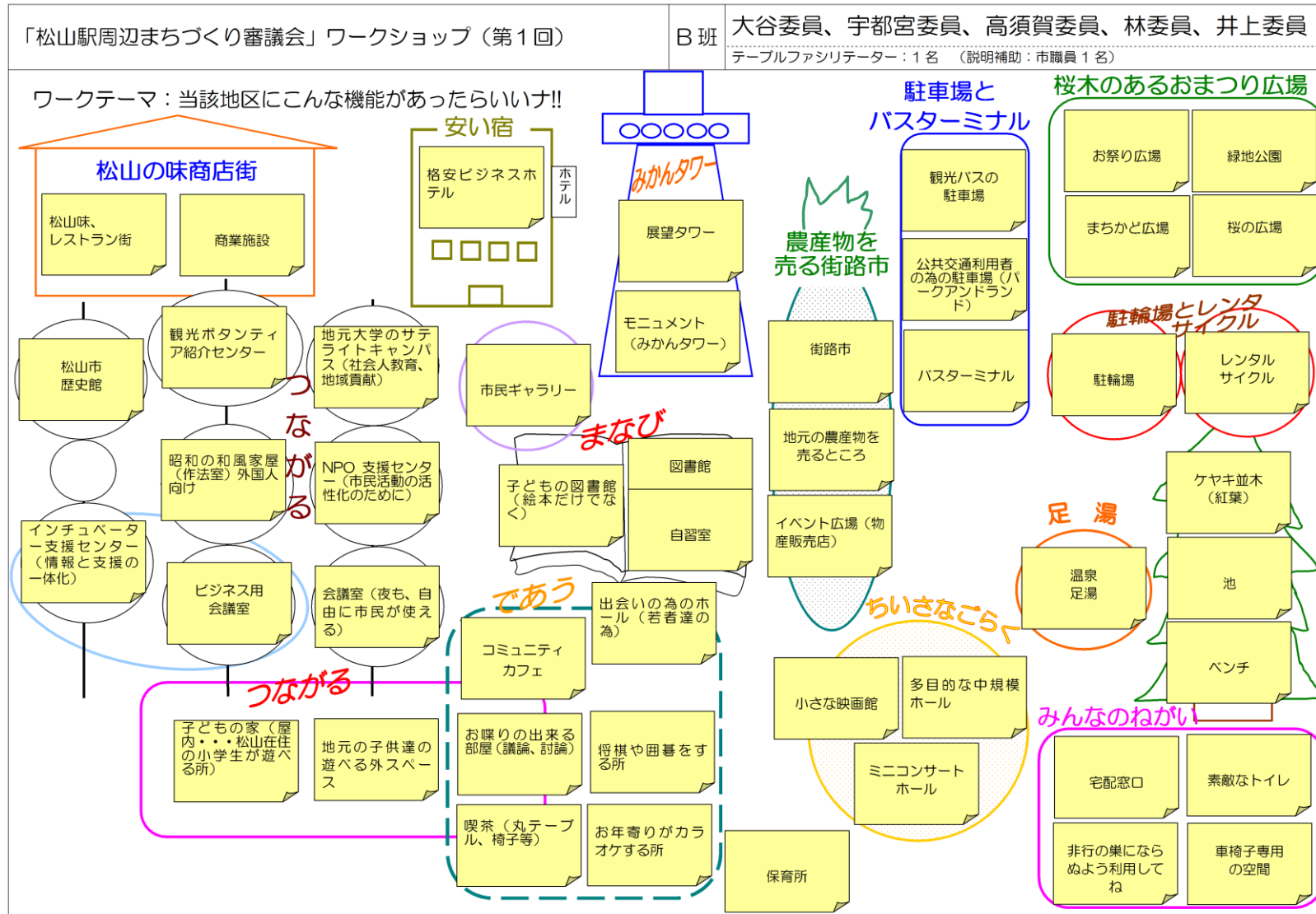


【A班】協議内容

- 大きくは、「緑あふれる憩いの広場」や「大好きな松山の自慢」コーナー、「世代を超えて集まれるユニバーサルスペース」などのゾーンをつなぐように「皆の豊かな生活空間」ゾーンがあったらいい、という議論となった。
- 施設を中心とする「皆の豊かな生活空間」として出されたアイデアは、飲食店、スーパー、スポーツジム、移動式の簡易図書館など、様々なものがあった。
- 「緑あふれる憩いの広場」としては、芝生などゆったりくつろげる広場や、お祭りの紹介、大道芸ができるような空間があるといいという意見の他、広場を避難所として利用できたら、というアイデアもあった。
- 「駐車、駐輪スペース」は、現在、駐車スペースが少ないということで、利用しやすい駐輪・駐車場がほしいという意見や、鍵付きの安心な駐輪場がほしい、という意見があった。
- 「大好き松山自慢」ゾーンとしては、松山のお土産が買えたり、観光情報を提供するコーナーがあったらいいという意見があった。また、もし高層の建物となる場合は、見晴らしのいい展望台ルームがあるといいというアイデアもあった。
- その他には、「ユニバーサルスペース」として、子育ての支援コーナーや保育所、高齢者のくつろぎの場がほしいといった意見が出され、障がいを持たれた方も含めて、世代を超えてみんなと一緒に楽しめる場所を作りたいという話になった。
- また、この場所が「町のシンボル」となるよう、高層棟の県庁や法務の合同庁舎にしたいという意見の他、演会場や会議室として使えるような松山一広いスペースがあるといいという意見もあった。



【B班】協議結果まとめ

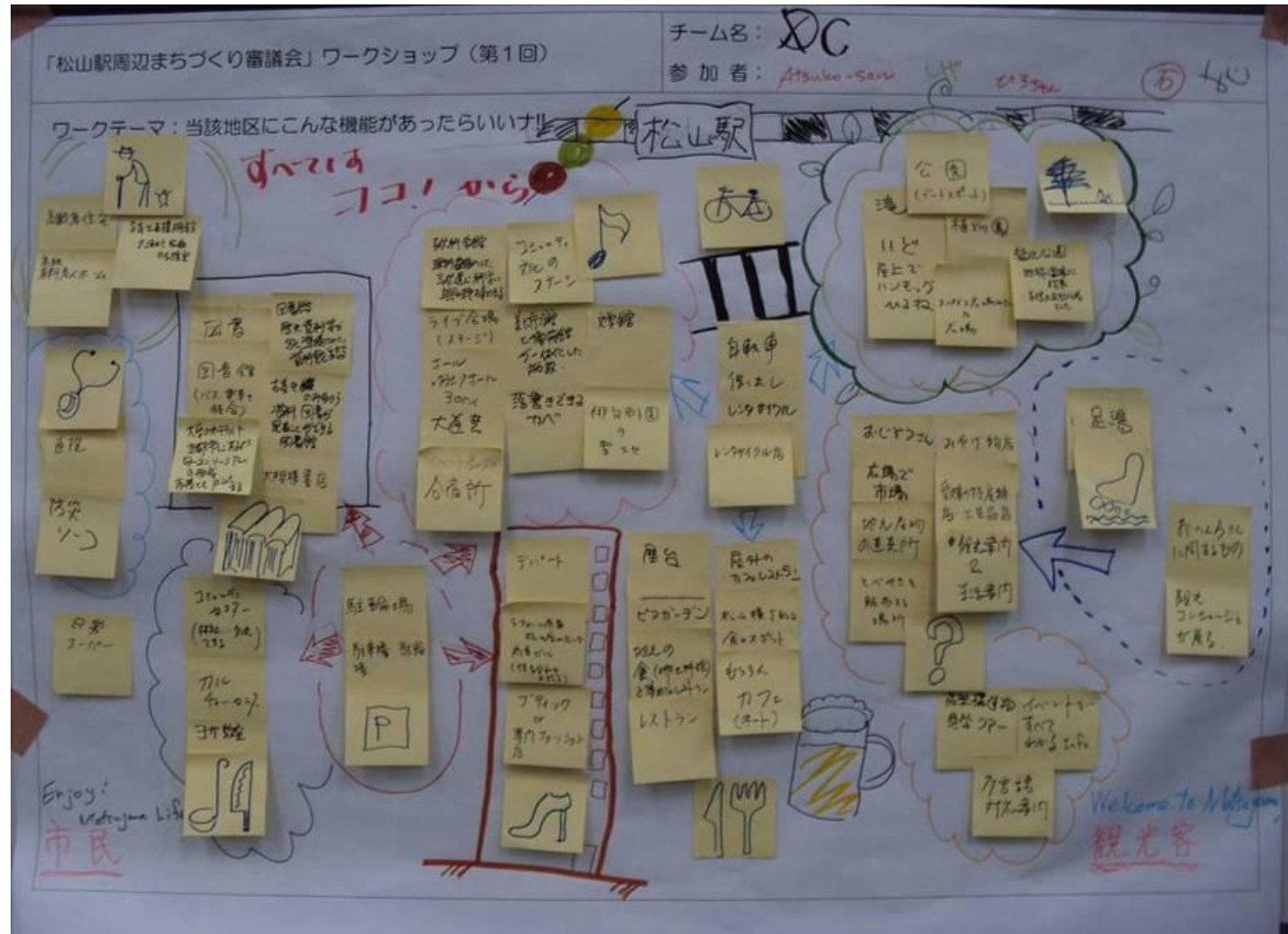


【B班】協議内容

- ・昔、松山には子どもの家があったが、現在では地元の子どもたちが遊べる施設がこの辺にないので必要だと言う意見、高齢者の方が遊べる、カラオケ、囲碁、将棋、おしゃべりなどができるコミュニティカフェなどがあるといいと言う意見、若者が出会うところがあったらいいと言う意見などが議論され、大学のサテライトキャンパス、NPO支援、市民が自由に簡単に使える会議室があれば良いと言う意見があり、観光関係とか、松山市民のための歴史館などがあるといいなということで、人がつながる、出会うための施設の集まりという議論となった。
- ・大きな娯楽ではなくて、小さな娯楽、それから学ぶための場所があると良い言う意見もあった。
- ・施設内部だけでなく、展望タワー、みかんタワーを作ろうと言う意見があり、その他にも、地元の農産物を売る街路市があり、駐車場、可能であればバスターミナル、桜のあるお祭り広場、レンタサイクルがある駐輪場、ケヤキ並木、池、ベンチ、足湯、車いすが利用できたり、素敵なトイレであったり、宅配の窓口などの意見もだされた。
- ・非行の巣にならない施設であるべきと言うみんなの希望が意見としてだされた。



【C班】協議結果
(ワークシート)



【C班】協議結果まとめ



【C班】協議内容

- ・松山駅を起点として、まちを盛り上げていくためにはどんな仕掛けが必要かを念頭においてみんなで知恵を出し合った。
- ・議論を進めていくうちに、最終的にたどりついたコンセプトは、松山駅を中心に、『すべてはココ！から』始まるというものであった。
- ・このワークシートは、議論の中で必要と考えた機能を提示したものであり、これらすべてが松山駅からつながるということを表現したものである。
- ・また、このワークシートは、利用者の視点に立って整理を行っており、市民が利用するものと観光客が利用するもので大きく二極化している。
- ・ワークシートの左側は市民、右側が観光客に必要と考えた機能である。
- ・市民側では、高齢者に関する施設や子育て支援施設、防災拠点、カルチャーセンター、図書館、資料館、サテライトキャンパスなどの機能が必要と考えた。
- ・観光客側では、公園、観案内、言語案内やツアーなどのソフト面などの機能が必要と考えた。
- ・また、ステージ、ホール、ライブ、クラシックホール、合宿所、コミュニティ施設など、市民と観光客の両方に必要な機能もあり、これらはワークシートの中央に示している。食べ物、飲食店などもここに含まれる。
- ・その他にも、ブティック、足湯、自転車への配慮などの意見があった。

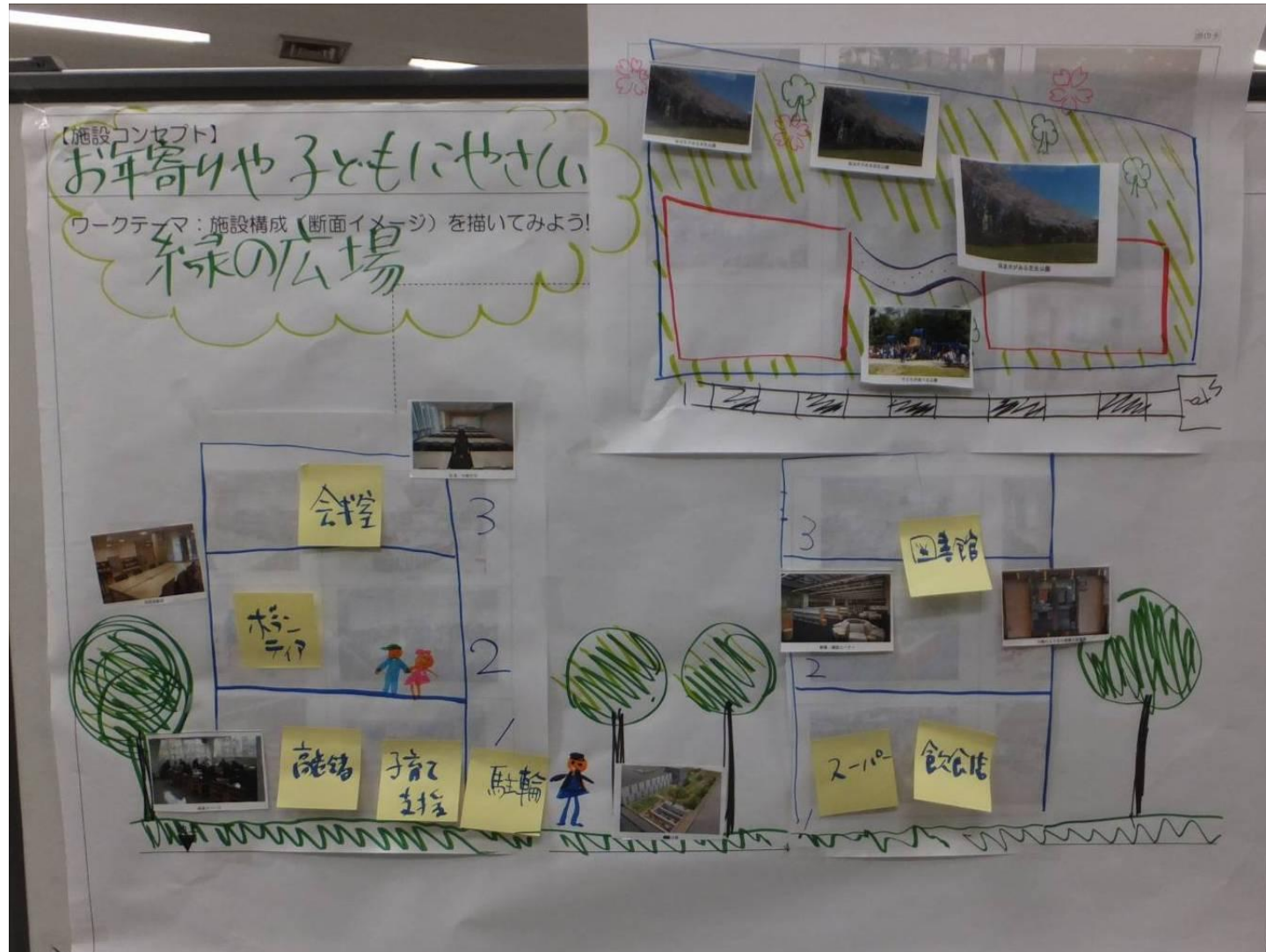


2. 第2回松山駅周辺まちづくり審議会におけるワークショップでの各班の協議内容

『車両基地跡地に必要な施設のイメージとコンセプト』

第2回松山駅周辺まちづくり審議会におけるワークショップでの各班の協議内容

【A班】協議結果
(ワークシート)



【A班】協議結果まとめ

<p>【施設コンセプト】</p> <p>お年寄りや子どもにやさしい緑の広場</p>	<p>「松山駅周辺まちづくり審議会」ワークショップ（第2回）</p> <p>A班 柏谷委員、畔地委員、一色委員、永井委員</p> <p>テーブルファシリテーター：1名（説明補助：市職員1名）</p>
--	---

ワークテーマ：施設構成

平面図



駅



会議室 3階

ボランティア 2階

**高齢者
子育て支援** 1階

駐輪場



図書館 3階

図書館 2階

**スーパー
飲食店** 1階

断面図

【A班】協議内容

（1）施設構成検討を通じた機能整理と絞込み

- ・高層の官庁施設（県庁）は、県有地であればよい。従って、見晴らしの良いタワーも県で。
- ・観光に関するものは駅前にあった方がよい。
- ・最も中心にしたいのは、高齢者のくつろぎの場と子育て支援のための場所。それに合わせてボランティアルームもあるといい。市民のための場所となるといい。
- ・屋外空間は、人が集える緑の多い広場になるといい。この広場が、屋外避難所としての機能も持てるといい。
- ・スーパーは民有地であればよいが、集客のためにこの場所にあってもいい。子育て支援施設を利用するお母さんなどにも便利。
- ・飲食店も民有地であればよいが、小さなカフェコーナーなどは跡地にあってもいい。スポーツジムも、民地であればよい。
- ・大きな「ホール、図書館、会議室」は他にもあるため、この場所にはなくていい。身近で小さな図書館や小規模な会議室があるといい。
- ・駐車場は、この場所になくてもいい。みんなが車で行く施設ならば駅前にある必要がない。近くに大きい駐車場があれば賄える。駐輪場はあるといい。

（2）施設イメージ

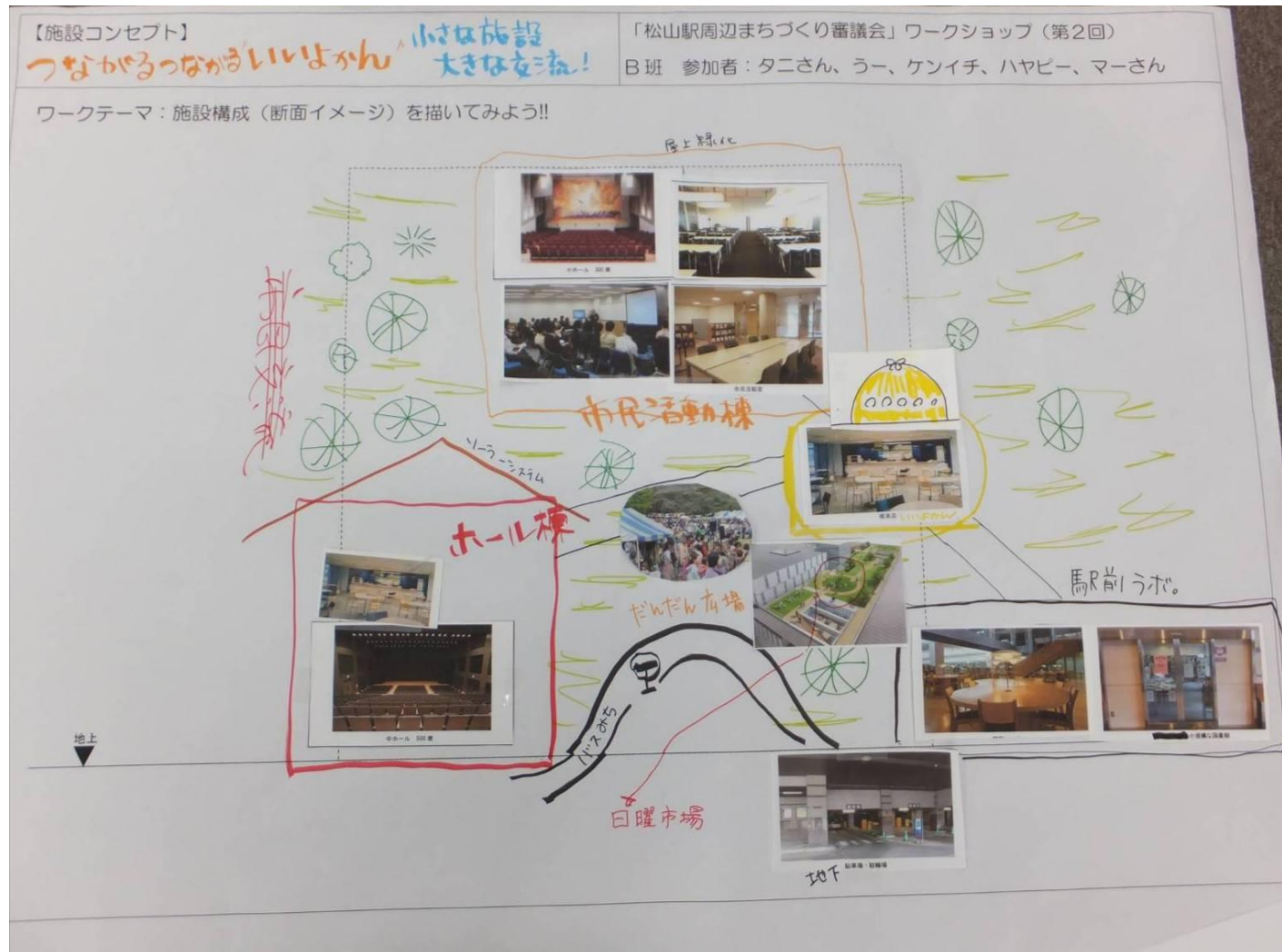
- ・子供からお年寄りまでが集う、市民のための憩いの場所、広場を囲むように低層の建物を配置。松山らしい、ゆったりしたやさしい空間とする。
- ・3階程度の低層な建物を2棟配置。高架からの防音と目隠しになるよう、JRの線路沿いに建物を配置する。
- ・松山駅に近い建物には、1階にスーパーや飲食店を設け、2、3階に文化的な要素として図書館を設ける。
- ・奥側の建物の1階は、高齢者のくつろぎの場や子育て支援の施設、2階はボランティアルーム、3階は会議などができる部屋を設ける。
- ・広場には誰もがくつろげる空間となるよう、桜並木を配置する。

（3）施設コンセプト：お年寄りや子どもにやさしい緑の広場

- ・人にも環境にもやさしい緑いっぱいのゆとりのある空間。
- ・子どもからお年寄りまで市民が集える場所。



【B班】協議結果
(ワークシート)



【B班】協議結果まとめ

<p>【施設コンセプト】 つながる・つながる・「いいよかん」 小さな施設大きな交流！</p>	<p>「松山駅周辺まちづくり審議会」ワークショップ（第2回） B班 大谷委員、宇都宮委員、高須賀委員、林委員、井上委員 テーブルファシリテーター：1名（説明補助：市職員1名）</p>
--	---

ワークテーマ：施設構成 敷地線

屋上緑化

市民活動棟

ホール棟

駅前ラボ

だんだん広場 喫茶店 いいよかん

バスみち 日曜市場

地下

施設をつなぐ

施設をつなぐ

【B班】協議内容

（1）施設構成検討を通じた機能整理と絞込み

- ・車両基地跡地には、市民が集う小・中規模ホール、ギャラリー、図書館（駅前ラボ）、松山の味が楽しめる商業施設、レストラン、小さな映画館、人が集まるような広場（緑地公園）、地元の農産物を売るとような青空市場を設ける。
- ・松山市のシンボルとなるような展望タワーやモニュメント、また足湯なども車両基地跡地に設置すべきではないか。
- ・一般の商業施設やホテルは民間の敷地。
- ・観光関係（観光バスの駐車場やレンタサイクル）は駅前広場にあった方が便利である。

（2）施設イメージ

- ・敷地内には緑をたくさん配置し、建物は全体的に2～3階建ての小規模なもので、ホール棟、市民活動棟、駅前ラボの3棟とする。
- ・ホール棟は、500席程度の規模とし、休憩スペースに喫茶店を配置し、屋根にソーラーシステムを設ける。
- ・市民活動棟は、市民が発表などの練習ができる小規模なホールや、可動式の机や椅子があり多目的に利用できる会議室などを配置する。
- ・駅前ラボは、ゆっくりと本が読めるような小規模な図書館とする。
- ・3棟を繋ぐように、松山らしさをアピールする“いよかん”の形をした喫茶店を配置し、モニュメントとなるようにする。
- ・緑の広場を“だんだん（ありがとう）広場”とし、地元の農産物を売る青空市場が開催できるような空間とする。
- ・多様な世代に配慮し、交通利便性を考慮して施設前にバスが入れるような通路を設ける。そして、地下を駐車場・駐輪場とする。

（3）施設コンセプト：つながる・つながる・「いいよかん」 ～小さな施設大きな交流！～

- ・各棟を繋ぐようにモニュメント・シンボルとして、皆が気持ちよく利用できる喫茶店「いいよかん」を敷地中心に配置する。
- ・施設は小さいけれども、活発な交流ができる場所の意味を込めて、サブタイトルをつけた。



【C班】協議結果
(ワークシート)



【C班】協議結果まとめ

<p>【施設コンセプト】</p> <p>大切にしたい“松山らしさ”発信活用すべてここから！</p>	<p>「松山駅周辺まちづくり審議会」ワークショップ（第2回）</p> <p>C班 清田委員、重山委員、玉乃井委員、佐々木委員、石橋委員</p> <p>テーブルファシリテーター：1名（説明補助：市職員1名）</p>
---	--

ワークテーマ：施設構成



南

明るい空間



展望台

屋上公園・イベント広場



北

デッキでつなぐ



中ホール 500席



小ホール 300席



能楽堂



文化情報施設・俳句・体験 サテライトキャンパス



会議室



子育て支援



交流ラウンジ



常設の展示スペース



桜並木がある芝生公園



野外イベント会場



屋内のイベント広場



喫茶店



新聞・雑誌コーナー

地区内（敷地内）

地下



駐車場・駐輪場

防災倉庫・水・エネルギー・情報（BCP 拠点）

地区外（敷地外）

人を呼ぶ仕掛け



足湯



出店・屋台やお祭りが出来る広場



商業施設



観光案内所



レンタサイクル



物産館

【C班】協議内容

（１）施設構成検討を通じた機能整理と絞込み

- ・ 商業施設や医療施設は、民間がやるべきものであるため民地がふさわしい。
- ・ 立地特性から、地元産物の直売所や土産物屋、観光案内、レンタサイクルなど観光に関連したものは、駅や駅前広場、またはその付近にある方が使い勝手がいい。
- ・ 公益性の視点から、文化的な機能・子育て支援施設は公的なものと判断し、車両基地跡地にあるべき。
- ・ 施設の利便性の視点から、駐車場・駐輪場は車両基地跡地にも必要。

（２）施設イメージ

- ・ 車両基地跡地が、南北に長い形状であることと南側が広い幹線道路に隣接していることから、敷地の南側を明るい空間とし、そこでイベントなどが開催できるような機能を配置する。
- ・ 北側の駅方面とデッキでつなぐ。それが実現した場合、人の流れの中心が中層階となるため、そこには交流ラウンジや市民活動の機能を配置し、人々が気軽に集まれるようにする。
- ・ 上層階は、人が長時間滞留する場となるよう、ちょっとした講演会ができるような気軽に使える小・中規模のホールを設ける。
- ・ 屋上は、緑化するとともに、展望台やイベントなどに活用できるようにする。
- ・ 地下は、駐車場・駐輪場の他、防災倉庫や貯水機能、蓄電システム、情報発信機能を配置し、BCP 拠点として機能するよう、上手く利用する。
- ・ デッキで繋がる北側の街区には観光関係の施設など駅方面から人を呼び込む仕掛けとなる機能を配置して欲しい。

（３）施設コンセプト：大切にしたい“松山らしさ” 発信・活用 すべてはココから！

- ・ 観光客に対して“松山らしさ”を情報発信し、市民のコミュニティ（市民活動）と松山の文化を体験することができる施設とする。
- ・ この施設での体験や情報を活用できるよう、他の施設と連携・連動し、『すべてはココから始まる』施設としたい。



3. 第3回松山駅周辺まちづくり審議会における協議内容

『第1回と第2回の結果を踏まえた車両基地跡地の利用に関する取りまとめ』

第3回松山駅周辺まちづくり審議会の協議経緯（素案⇒協議⇒結果）

*前2回のワークショップをもとに、委員全員が車座になって確認検討作業を行いました。

素案

【(1)基本理念】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると…？

だんだん つながる いいよかん
『まつやま情報文化交流拠点』
～松山らしさのすべてはココから！～

【(2)基本方針】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると…？

◆ 4つの柱

- ① 駅前立地を活かし、市民と観光客がともに松山の情報文化を体験できる「複合施設」
- ② 独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信
- ③ 子どもからお年寄りまで、市民の多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート」機能
- ④ みどりの広場やカフェなど、人々が気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結

協議

1 **基本理念**（施設コンセプト）

⑤ だんだん つながる いいよかん
 『まつやま情報文化交流拠点』
 ⑤ ~松山らしさのすべてはココから！~

2 **基本方針**（施設イメージ）
【4つの柱】

- ① 駅前立地を活かし、市民と観光客がともに松山の情報文化を体験できる「複合施設」
- ② 独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信 する
- ③ 子どもからお年寄りまで、市民の多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート機能」する
- ④ みどりの広場やカフェなど、人々が気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結 する

Handwritten notes on the board include:
 - 「施設コンセプト」
 - 「ハード 3.5年前のビル」
 - 「(可?) 3.5年前のビル」
 - 「自分たちの活動に」
 - 「活動に」
 - 「の散り」
 - 「複合施設は20と出さ 施設は3年」
 - 「by inter-」
 - 「小規模」
 - 「施設」
 - 「単体のビルと複合施設」
 - 「同じく複合」
 - 「情報の発信」
 - 「複合施設」
 - 「提供」
 - 「市民」

素案

【(1) 基本理念】

2回のワークショップから見てきたもの

だんだん つながる いいよかん
¹『まつやま情報文化交流拠点』
 ～松山らしさのすべてはココから！～²

協議

協議内容の概要

1. 『まつやま情報文化交流拠点』が施設機能を総称しているので冒頭の主タイトルとし、1行目と3行目を1行にしてつなげて連ねることで施設の目指す姿も伝わる。
2. 表現が長いとの意見もあったが、施設名称（愛称等）として今後の検討課題に。

結果

第3回での協議結果

『まつやま情報文化交流拠点』
 ～だんだん つながる いいよかん・松山らしさのすべてはココから！～

素案

【(2) 基本方針】

2回のワークショップから見てきたもの

【4つの柱】

- ① 駅前立地を活かし、¹市民と観光客がともに松山の情報文化を体験できる²「複合施設」
- ② 独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信
- ③ 子どもからお年寄りまで、¹市民の多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート」機能
- ④³ みどりの広場やカフェなど、人々が気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結

協議

協議内容の概要

1. 「市民が主役」である主要機能との整合性を図るため、“市民”や“観光客”など利用主体を特定する表現は統一削除。
2. 今まで議論してきた施設イメージは「複合施設（ハコ）」ではなく「施設の複合（機能）」の方が適切。なお、文末を統一する過程で結果として表現そのものを削除。
3. 具体的な施設例まで表現する必要はない。
4. 文末は体言止めではなく、「〇〇する」等の動詞で統一する。

結果

第3回での協議結果

- 【4つの柱】
- ① 駅前立地を活かし、松山の情報文化を体験⁴できる
 - ② 独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信⁴する
 - ③ 子どもからお年寄りまで、多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート」⁴する
 - ④ 気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結⁴する

素案

【(3) 主要機能】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると…？

機 能	
文化創造機能	市民が気軽に多様な文化や知識に親しめるとともに、練習や創作など新たな松山文化を創造し、情報発信する機能
市民活動支援機能	市民や市民活動団体による公益的な活動の活性化を推進するとともに、「子育て支援」や「高齢者のくつろぎ」など、お互いの暮らしを支え合う活動を支援する機能
賑わい交流機能	市民がぶらりと立ち寄れる日常的なくつろぎの場や、そこで繰り広げられる様々なイベントに参加し楽しむことのできる賑わい交流機能
交通アクセス機能	駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能
防災拠点機能	屋外避難広場や防災倉庫など地域の防災拠点としての機能

協議

③ 主要機能 (施設構成検討を通じた機能整理と絞り込み) ワーク結果をまとめてみると・・・?

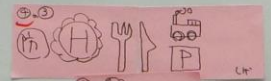
機能	施設例(委員の皆さんがイメージされたもの)
文化創造機能	ホール (大)鑑賞・発表 (小)練習・創造・・・市民活動機能と連携 スタジオ アトリエ 創作・体験・・・市民活動機能と連携 図書スペース 新聞雑誌等コーナー、カフェ的な閲覧ラウンジ 気軽に親しめる図書館機能・ラボ機能 俳句の甲子園の聖地、松山文学情報コーナー 和室 茶華道や作法など日本文化・松山文化の体験 市民ギャラリー 常設・企画展示、絵画写真等の市民作品の展示
市民活動支援機能	活動室(ボランティアセンター) 各種会議室、ワークショップルーム 研修・セミナー室(サテライトキャンパス機能) 子育て支援スペース ライフサポート 高齢者向けつろぎサロン(囲碁、将棋等)
賑わい交流機能	ロビー エントランス、情報交流ラウンジ、屋内イベント みどりの広場(だんだん広場):芝生、樹木、 屋外空間 桜並木、散歩、ベンチ、遊具・子どもの遊び場、 地元農産物等の青空市場、イベント、ステージ等 飲食物販 カフェ:各種機能をつなぐ核・結節点として ショップ(コンビニ、スーパー等生活利便系商業)
交通アクセス機能	駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能 駐車・駐輪 駐輪場(鍵付)
防災拠点機能	避難 屋外避難広場(みどりの広場兼用) 防災拠点 防災倉庫、BCP(事業継続計画)拠点等

② 市民活動支援機能
 市民活動支援機能
 市民活動支援機能
 市民活動支援機能

① 市民活動支援機能
 市民活動支援機能
 市民活動支援機能

④ 市民活動支援機能
 市民活動支援機能
 市民活動支援機能

② 市民活動支援機能
 市民活動支援機能
 市民活動支援機能



④ 市民活動支援機能
 市民活動支援機能
 市民活動支援機能

③ 市民活動支援機能
 市民活動支援機能
 市民活動支援機能

素案

【(3) 主要機能（その1）】

2回のワークショップから見えてきたもの

文化 ¹ 創造 機能	市民が気軽に多様な文化や知識に親しめるとともに、練習や創作など新たな松山文化を創造し、情報発信する機能
市民活動 ¹ 支援 機能	市民や市民活動団体による公益的な活動の活性化を推進するとともに、 ² 「子育て支援」や「高齢者のくつろぎ」など、お互いの暮らしを支え合う活動を支援する機能
賑わい交流 機能	市民が ³ 「ぶらりと立ち寄れる」日常的なくつろぎの場や、そこで繰り上げられる様々なイベントに参加し楽しむことのできる賑わい交流機能

協議

協議内容の概要

1. 基本理念に“交流拠点”とあるので、“交流”という表現を主要機能に入れるべき。
2. 「子育て世代」や「高齢者」への対応は、この施設に限ったことではないので、あえて表現する必要はないのでは？との意見もあったが、「など」という例示表現も付いているし、具体的な例を示した方が伝わりやすいという結論になった。
3. 「ぶらりと立ち寄れる」というほど駅に近接していないので、表現に違和感がある。よって削除することになった。

結果

第3回での協議結果

文化交流 機能	市民が気軽に多様な文化や知識に親しめるとともに、練習や創作など新たな松山文化を創造し、情報発信する機能
市民活動 交流 機能	市民や市民活動団体による公益的な活動の活性化を推進するとともに、「子育て支援」や「高齢者のくつろぎ」など、お互いの暮らしを支え合う活動を支援する機能
賑わい交流 機能	市民の日常的なくつろぎの場や、そこで繰り上げられる様々なイベントに参加し楽しむことのできる賑わい交流機能

素案

【(3) 主要機能（その2）】

2回のワークショップから見てきたもの

交通アクセス機能	⁴ 駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能
防災拠点機能	⁵ 屋外避難広場や防災倉庫など地域の防災拠点としての機能

協議

協議内容の概要

<p>4. 他都市の事例では、敷地内駐車場を設置した場合、施設単体利用のみにとどまり、交流や賑わいづくりにつながっていないケースも多く見られる。駐車場と各機能の配置計画や連携には十分な配慮が必要。</p> <p>4. 車社会ではあるが、近年の低炭素社会実現を目指すエコライフなどの動きも鑑みて、車による来館を少しでも減らせるような工夫も併せて必要との指摘もあった。</p> <p>4. 上記のような協議が行われたが、内容を変更せず、今後の検討課題とした。</p> <p>5. 防災機能は、非常時以外にも有効活用できるような工夫が必要である。</p> <p>5. 上記のような協議が行われたが、内容を変更せず、今後の検討課題とした。</p>

結果

第3回での協議結果

交通アクセス機能	駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能
防災拠点機能	屋外避難広場や防災倉庫など地域の防災拠点としての機能

素案

【(4) 今後の検討課題】 ← 2回のワーク結果をまとめてみると…？

- ・ 駅前広場、県有地、民地など駅周辺エリア全体での機能分担と相互連携を考える。上表の「施設例」を参考に導入機能の精査。
- ・ 駅からの動線を考慮。高架レベルから繋がるペデストリアンデッキなど本計画地までのアクセスおよび経路の安全性・快適性にも配慮する。
- ・ 「みどりの広場」を中心に施設配置を考える。地上のみならず、デッキレベルや屋上緑化など断面計画も含め、柔軟な広場配置を心がける。
- ・ 建築の配置計画においては、南面の日当たりなど採光や通風等に十分配慮するとともに、線路レベル（電車）からの眺望にも配慮する。
一方で、振動や騒音への遮音性能の確保にも留意する。
- ・ 一枚岩的な大きなビルディングタイプではなく、「分棟」や「傾斜屋根」など分節化したデザインの集積による複合施設のイメージが多くあった。
- ・ みかんの木や和風など「松山らしさ」をシンボライズするデザインモチーフや外観、タワーや展望スペースなどについても提案が見られた。

協議

ワーク結果をまとめてみると・・・?

後 課題

- ① 駅前広場、県有地、民地など駅周辺エリア全体での機能分担と相互連携を考える。上表の「施設例」を参考に導入機能の精査。
- ② 駅からの動線を考慮。高架レベルから繋がるペDESTリアンデッキなど本計画地までのアクセスおよび経路の安全性・快適性にも配慮する。
- ③ 「みどりの広場」を中心に施設配置を考える。地上のみならず、デッキレベルや屋上緑化など断面計画も含め、柔軟な広場配置を心がける。
- ④ 建築の配置計画においては、南面の日当たりなど採光や通風等に十分配慮するとともに、線路レベル(電車)からの眺望にも配慮する。一方で、振動や騒音への遮音性能の確保にも留意する。
- ⑤ 一枚岩的な大きなビルディングタイプではなく、「分棟」や「傾斜屋根」など分節化したデザインの集積による複合施設のイメージが多くあった。
- ⑥ みかんの木や和風など「松山らしさ」をシンボライズするデザインモチーフや外観、タワーや展望スペースなどについても提案が見られた。

⑤ その他

① 駅周辺の...
② 駅周辺の...
③ 駅周辺の...
④ 駅周辺の...
⑤ 駅周辺の...
⑥ 駅周辺の...
⑦ 駅周辺の...
⑧ 駅周辺の...
⑨ 駅周辺の...
⑩ 駅周辺の...
⑪ 駅周辺の...
⑫ 駅周辺の...
⑬ 駅周辺の...
⑭ 駅周辺の...
⑮ 駅周辺の...
⑯ 駅周辺の...
⑰ 駅周辺の...
⑱ 駅周辺の...
⑲ 駅周辺の...
⑳ 駅周辺の...

引き続き
検討

【(4) 今後の検討課題】

これまでの2回のワークショップを通して提案された意見や今回の審議会で検討された内容については、「今後の検討課題」として、次年度以降も引き続き当審議会にて、本市の公共施設の状況や財政状況などを総合的に勘案しつつ検討するものとします。

今後の検討課題

【車両基地跡地と周辺との連携及び駅からのアクセスについて】

- ・ 駅前広場、県有地、民地など駅周辺エリア全体での機能分担と相互連携
- ・ 本計画地までのアクセスおよび経路の安全性・快適性（高架レベルからのペDESTリアンデッキなど）
- ・ 駐車場と主要機能をつなぐ経路上の賑わい創出や、駐輪場などエコモビリティに配慮

【車両基地跡地の配置計画について】

- ・ 建築の配置計画においては、南面の日当たりなど採光や通風等に十分配慮
- ・ 線路レベル（電車）からの眺望に配慮。一方で、振動や騒音への遮音性能の確保
- ・ 「分棟」や「傾斜屋根」など分節化したデザインの集積による施設が複合するイメージ
- ・ 「みどりの広場」を中心とした施設配置
- ・ 地上のみならず、デッキレベルや屋上緑化など断面計画も含め、柔軟な広場配置
- ・ 松山市の自然特性を活かした街づくりを担うよう、広場空間には、並木や親水空間を配置

【施設設備について】

- ・ 水不足（漏水）に強い貯水機能
- ・ 防災機能は、非常時以外にも有効活用できるような工夫が必要

【「松山らしさ」のアピールについて】

- ・ みかんの木や和風など「松山らしさ」をシンボライズするデザインモチーフや外観、タワーや展望スペースなどの提案
- ・ 市民参画を通じ、「松山らしさ」の具体化（共通認識を持つ）

【その他の意見】

- ・ 交流機能としてホールを検討する場合、堀之内（史跡）にあり建替えできない市民会館のあり方や跡地利用なども検討
- ・ 景観軸を作れるような計画（建物の向きや素材の統一など）
- ・ 来年度以降、詳細設計、運営までの市民参加（施設が出来る前にプロセスを共有）
- ・ 松山駅自体の集客性

4. 中間報告

第3回松山駅周辺まちづくり審議会 協議結果

～車両基地跡地の利用について～

【(1)基本理念】

『まつやま情報文化交流拠点』

～だんだん つながる いいよかん・松山らしさのすべてはココから！～

【(2)基本方針】

【4つの柱】

- ① 駅前立地を活かし、松山の情報文化を体験できる
- ② 独自の文化やお接待の心など、松山の「新しい顔」として「松山らしさ」を情報発信する
- ③ 子どもからお年寄りまで、多様な活動や暮らしをやさしく「応援&サポート」する
- ④ 気軽に集い憩える「交流スペース」で各機能を連結する

【(3)主要機能】

文化交流機能	市民が気軽に多様な文化や知識に親しめるとともに、練習や創作など新たな松山文化を創造し、情報発信する機能
市民活動交流機能	市民や市民活動団体による公益的な活動の活性化を推進するとともに、「子育て支援」や「高齢者のくつろぎ」など、お互いの暮らしを支え合う活動を支援する機能
賑わい交流機能	市民の日常的なくつろぎの場や、そこで繰り広げられる様々なイベントに参加し楽しむことのできる賑わい交流機能
交通アクセス機能	駐車場・駐輪場など交通結節点としての機能
防災拠点機能	屋外避難広場や防災倉庫など地域の防災拠点としての機能

今回の審議会に取りまとめた【(1)基本理念】【(2)基本方針】【(3)主要機能】については、来年度以降も基本構想の策定に向けて審議会にて検討を続けてまいります。